



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社ソリトンシステムズ 上場取引所 東
コード番号 3040 URL <https://www.soliton.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 理
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 三須 貴夫 (TEL) 03-5360-3801
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年12月期第3四半期 | 13,244 | △3.2 | 1,041 | △38.3 | 1,074 | △45.3 | 725 | △44.8 |
| 2023年12月期第3四半期 | 13,677 | △5.6 | 1,687 | 41.3 | 1,964 | 40.7 | 1,315 | 30.3 |

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 706百万円 (△41.7%) 2023年12月期第3四半期 1,211百万円 (32.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年12月期第3四半期 | 39.16 | — |
| 2023年12月期第3四半期 | 71.03 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年12月期第3四半期 | 22,109 | 11,346 | 51.3 | 611.45 |
| 2023年12月期 | 22,624 | 11,131 | 49.1 | 599.90 |

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 11,334百万円 2023年12月期 11,116百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期 | — | 10.00 | — | 14.00 | 24.00 |
| 2024年12月期 | — | 13.00 | — | — | — |
| 2024年12月期（予想） | — | — | — | 39.00 | 52.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 18,400 | △3.5 | 2,000 | △23.3 | 2,070 | △26.3 | 1,430 | △26.2 | 77.16 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年12月期3Q | 19,738,888株 | 2023年12月期 | 19,738,888株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年12月期3Q | 1,201,787株 | 2023年12月期 | 1,208,987株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年12月期3Q | 18,532,686株 | 2023年12月期3Q | 18,523,519株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、欧米等では金融引き締めによるインフレ抑制の効果が足踏みし、中国経済は減速懸念が継続しました。わが国は、好調な企業業績を背景に設備投資が増加し、雇用・所得環境も改善傾向にありますが、円安による物価高が続き、個人消費の本格的回復には至らない状況です。

IT投資について、企業、官公庁/自治体とも競争力強化や生産性向上を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みは引き続き高い水準にあります。一方、サイバー空間は、国家の安全に直接影響し、また、国境を越えた犯罪が跋扈する場にもなっています。ITセキュリティは、経費（コスト）から組織の信用を維持するための投資へと変化が起きています。

このような環境下、当社グループの業績について、ITセキュリティ事業とEco新規事業開発で大型の公共案件が無く「商品・製品」の売上が4,950百万円（前年同期比11.6%減少）となりましたが、高粗利率の「保守」の売上が4,146百万円（前年同期比4.8%増収）、「クラウドサービス」の売上が1,767百万円（前年同期比7.1%増収）となりました。その結果、全体の売上高は13,244百万円（前年同期比3.2%減）となり、粗利率は43.2%（前年同期：44.0%）を維持しました。しかしながら、会社のオフィス環境の整備（投資額2.0億円、内販売管理費の増加0.8億円、固定資産の取得1.2億円）や将来的な人材への投資等により販売管理費が前年同期比8.3%増加し、営業利益は1,041百万円（前年同期比38.3%減）となりました。当第3四半期末、一時的に円高に振れ為替差益が12百万円（前年同期：169百万円）となり経常利益は1,074百万円（前年同期比45.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は725百万円（前年同期比44.8%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

① ITセキュリティ事業

売上高は12,493百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益は1,994百万円（前年同期比21.3%減）となりました。

粗利率が高い自社製品による中央省庁向け大型案件が減少（前年同期当該大型案件の実績約4億円）し、減収減益となりました。しかしながら、前述のようにあらゆる組織でIT投資が拡大する一方、サイバー攻撃の被害件数は増加しており、セキュリティ対策の見直し、強化が喫緊の課題になっています。認証を中心とする当社製品/サービスの需要は中長期的に堅調に拡大するものと見ております。そのような中、国内シェアNo.1の認証アプライアンス「NetAttest EPS」につき、新たにAWS（Amazon Web Services）上で動作させました。これでNutanix AHV、Microsoft Azure、AWSと3つの仮想環境と物理アプライアンスに対応し、顧客のITシステムに最適な形態で提供できることになりました。

② 映像コミュニケーション事業

売上高は673百万円（前年同期比12.6%増）、セグメント利益は55百万円（前年同期はセグメント損失87百万円）となりました。

「Smart-telecaster シリーズ」について、国内外のパブリックセーフティ分野（公的治安、災害対処）への販売を中心に、売上高は増収、セグメント利益を計上しました。特にクラウド経由で超短遅延/高精細画像をモニターしながら離れた場所にある車両や建機等を遠隔監視/操縦する「Zao SDK」は、欧米で試験導入が進み、国内ではNTTコミュニケーションズ株式会社が提供する、建設機器の遠隔操縦/自動化ソリューションの映像伝送部分として採用されました。また、ドローンやヘリコプターの空撮映像をSmart-telecasterで伝送・共有し、災害対策に活用する実証実験を日本各地の自治体と進めています。

③ Eco 新規事業開発

売上高は77百万円（前年同期比71.4%減）、セグメント損失は252百万円（前年同期はセグメント損失147百万円）となりました。

既存の人感センサーの販売が主となった為、売上高は減収となりました。先進プロジェクトであるアナログエッジAIは技術者を増員し鋭意開発を推進しており、結果、セグメント損失が拡大しました。一方、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下、JAXA）とインド宇宙研究機関が協働する「月極域探査機プロジェクト（LUPEX ローバシステムPJ）」において、三菱重工株式会社（以下、三菱重工）がLUPEX ローバの開発を担っており、当社は三菱重工に対し、LUPEX ローバ向け画像航法アルゴリズムの宇宙用FPGAへの実装設計を支援することになりました。当社は今後もJAXAと連携し宇宙関連の研究開発PJに継続的に取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の当社グループの総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて514百万円減少し、22,109百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて197百万円減少し、19,755百万円となりました。これは主に現金及び預金が170百万円、前払費用が127百万円、流動資産その他が99百万円、商品及び製品が31百万円増加した一方、売掛金が531百万円、電子記録債権が90百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて317百万円減少し、2,354百万円となりました。これは主にソフトウェアが40百万円増加した一方、繰延税金資産が199百万円、ソフトウェア仮勘定が139百万円減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて762百万円減少し、10,639百万円となりました。これは主に契約負債が664百万円、支払手形及び買掛金が224百万円増加した一方、未払法人税等が920百万円、賞与引当金が353百万円、未払金が214百万円、流動負債その他が137百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて33百万円増加し、123百万円となりました。これは主にリース債務が25百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の部については、前連結会計年度末に比べて215百万円増加し、11,346百万円となりました。これは主に、利益剰余金が225百万円増加したことによるものであります。

なお自己資本比率は51.3%（前連結会計年度末比2.2ポイント増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期通期（2024年1月1日～12月31日）の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しました「2024年12期連結業績予想の修正および期末配当予想の据え置きに関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当社は、2024年10月1日に「配当方針の変更および期末配当予想（増配）の修正に関するお知らせ」を公表しました。新たな配当方針は、「将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針とし、配当については、配当性向（連結）50.0%程度、もしくは株主資本配当率（連結）8.0%程度を目安とする。」とし、当期から適用することとしています。

当該配当方針より年間配当予想について、配当性向（連結）50.0%とすると38.58円/株、株主資本配当率（連結）8.0%とすると49.57円/株（*1）となりますが、現在の当社財務状況は健全であり、保守やクラウドサービス等のリカーリングビジネス（*2）が堅調に伸長しており、基礎収益力も年々強化されております。従いまして、期末配当金予想は39.00円/株、年間配当予想は52.00円/株（*3）とし2024年10月1日に公表した数値より変更いたしません。

（*1）2024年12月期第3四半期末の1株当たり株主資本（連結）より算出しています。

（*2）リカーリングビジネスとは、顧客に自社の製品やサービスを一度販売して終わりではなく、販売後も継続して取り引きし続けることで、長期間にわたり安定的に利益を獲得するビジネスモデルです。

（*3）年間配当予想52.00円/株の場合、株主資本配当率（連結）は8.4%になります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 13,394 | 13,564 |
| 受取手形 | 2 | - |
| 電子記録債権 | 1,076 | 986 |
| 売掛金 | 2,655 | 2,123 |
| 契約資産 | 19 | 11 |
| リース投資資産 | 65 | 92 |
| 商品及び製品 | 751 | 782 |
| 仕掛品 | 54 | 39 |
| 原材料及び貯蔵品 | 59 | 53 |
| 前払費用 | 1,524 | 1,652 |
| その他 | 373 | 472 |
| 貸倒引当金 | △23 | △23 |
| 流動資産合計 | 19,952 | 19,755 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 684 | 783 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 337 | 377 |
| ソフトウェア仮勘定 | 230 | 91 |
| その他 | 14 | 14 |
| 無形固定資産合計 | 583 | 484 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 97 | 75 |
| 差入保証金 | 472 | 387 |
| 繰延税金資産 | 350 | 151 |
| その他 | 483 | 473 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 投資その他の資産合計 | 1,404 | 1,087 |
| 固定資産合計 | 2,672 | 2,354 |
| 資産合計 | 22,624 | 22,109 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 883 | 1,108 |
| 短期借入金 | 69 | 64 |
| リース債務 | 21 | 23 |
| 未払金 | 525 | 310 |
| 未払法人税等 | 930 | 9 |
| 契約負債 | 7,881 | 8,546 |
| 賞与引当金 | 656 | 302 |
| 役員賞与引当金 | 24 | - |
| その他 | 408 | 271 |
| 流動負債合計 | 11,402 | 10,639 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 43 | 68 |
| その他 | 47 | 55 |
| 固定負債合計 | 90 | 123 |
| 負債合計 | 11,493 | 10,763 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,326 | 1,326 |
| 資本剰余金 | 1,404 | 1,405 |
| 利益剰余金 | 9,844 | 10,070 |
| 自己株式 | △1,322 | △1,314 |
| 株主資本合計 | 11,253 | 11,486 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 14 | 10 |
| 為替換算調整勘定 | △150 | △163 |
| その他の包括利益累計額合計 | △136 | △152 |
| 非支配株主持分 | 15 | 11 |
| 純資産合計 | 11,131 | 11,346 |
| 負債純資産合計 | 22,624 | 22,109 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 13,677 | 13,244 |
| 売上原価 | 7,664 | 7,519 |
| 売上総利益 | 6,012 | 5,725 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,325 | 4,683 |
| 営業利益 | 1,687 | 1,041 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 73 | 18 |
| 為替差益 | 169 | 12 |
| 助成金収入 | 19 | - |
| 貸倒引当金戻入額 | 0 | 0 |
| その他 | 19 | 5 |
| 営業外収益合計 | 283 | 37 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 0 | 0 |
| 固定資産除却損 | 4 | 2 |
| 投資事業組合運用損 | 0 | 1 |
| その他 | - | 0 |
| 営業外費用合計 | 6 | 3 |
| 経常利益 | 1,964 | 1,074 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | - | 11 |
| 固定資産売却益 | - | 0 |
| 債務免除益 | 24 | - |
| 特別利益合計 | 24 | 12 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 2 | 8 |
| 事業構造改善費用 | 28 | - |
| 特別損失合計 | 31 | 8 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,958 | 1,078 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 550 | 165 |
| 法人税等調整額 | 93 | 198 |
| 過年度法人税等 | - | △8 |
| 法人税等合計 | 644 | 356 |
| 四半期純利益 | 1,313 | 722 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △2 | △3 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,315 | 725 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,313 | 722 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7 | △3 |
| 為替換算調整勘定 | △109 | △11 |
| その他の包括利益合計 | △102 | △15 |
| 四半期包括利益 | 1,211 | 706 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,211 | 710 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △0 | △3 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 244百万円 | 261百万円 |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2023年1月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|-------------------|-----------|-------------|------------|--------|
| | I Tセキュリティ | 映像コミュニケーション | Eco 新規事業開発 | |
| 売上高 | | | | |
| 商品・製品 | 5,134 | 210 | 253 | 5,598 |
| 保守 | 3,924 | 31 | - | 3,955 |
| クラウドサービス | 1,626 | 23 | 0 | 1,650 |
| 役務その他収益 | 2,120 | 333 | 18 | 2,473 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 12,806 | 598 | 271 | 13,677 |
| 外部顧客への売上高 | 12,806 | 598 | 271 | 13,677 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 5 | 1 | 17 | 24 |
| 計 | 12,812 | 599 | 289 | 13,701 |
| セグメント利益又は損失(△) | 2,535 | △87 | △147 | 2,300 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 2,300 |
| 全社費用（注） | △612 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,687 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2024年1月1日 至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|-------------------|----------|-------------|------------|--------|
| | ITセキュリティ | 映像コミュニケーション | Eco 新規事業開発 | |
| 売上高 | | | | |
| 商品・製品 | 4,651 | 227 | 71 | 4,950 |
| 保守 | 4,110 | 36 | - | 4,146 |
| クラウドサービス | 1,706 | 61 | - | 1,767 |
| 役務その他収益 | 2,025 | 349 | 5 | 2,380 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 12,493 | 673 | 77 | 13,244 |
| 外部顧客への売上高 | 12,493 | 673 | 77 | 13,244 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 5 | 32 | 16 | 55 |
| 計 | 12,498 | 706 | 94 | 13,300 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,994 | 55 | △252 | 1,798 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 1,798 |
| 全社費用（注） | △757 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,041 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。